

## 「みえの現場・すこいやんかトーク大学編」 in 四日市大学、四日市看護医療大学の概要

12月7日（水）に四日市大学で「みえの現場・すこいやんかトーク大学編」を、四日市大学、四日市看護医療大学合同で開催しました。

当日は、「自立し、行動する県民になるために～地域活動から学んだこと～」というテーマで、地域活動に取り組む学生17名と知事が意見交換を行いました。



### （活動内容の紹介及び自己紹介）

最初に、参加した学生から、日頃の活動の紹介と自己紹介とともに、三重県の好きなのところと、もうちょっと頑張った方がいいと思うことについて、順番に発表してもらいました。

三重県の好きなのところは、「自然豊か」「おいしいものがいっぱいある」「人がやさしい」「住みやすい」といった意見が出された一方、頑張ってほしい部分としては、「公共交通機関が不便」「県の知名度がない」「地元での就職先がない」「商店街が寂れている」などの意見がありました。



### トーク参加者及び活動内容について

#### ○ ファシリテーター

総合政策学部 岩崎 恭典 教授

#### 【四日市大学】

##### ●四日大エコ活動

メディアコミュニケーション学科	2年	栗本 弘樹
環境情報学科	2年	吉兼 知未
経営学科	2年	谷 祐貴
	4年	水野 匠

四日市大学の竹を使った子ども向け地域イベントの開催や地域の清掃活動等を行っている。

##### ●ボランティア部

総合政策学科	2年	仁木 舞由子
		三島 彩
		中西 裕亮
		尾崎 雅

チャリティ募金などの活動の他、わくわくフェスタや四日市港まつりのスタッフなどの活動を行っている。

##### ●Movie Zoo（ムービーズー）

経済学科	4年	伊藤 大輝
	1年	伊藤 康祐
	2年	湯 泉
		劉 佳利

地域の魅力を発見し、それを取材して動画という形で情報を発信する活動をしている。メディアネット四日市などの市民団体とも連携。

#### 【四日市看護医療大学】

##### ●学生ボランティアサークル

看護学科	2年	田中 見奈
		小野 麻美子
		福島 美帆
	1年	松岡 祐輔
		横山 桜子

四日市市を中心に、重度の脳障害を持つ子どもたちのリハビリ補助をはじめとした障がい児とのふれあい、託児、献血活動などの活動を行っている。

### (活動を広げていくために必要なこと)

次に、これまでそれぞれが活動に取り組んできた中で課題について聞いてみると、活動をしていく中で、自分たちと同世代の若い人に出会う機会が少ないという声が多く出されました。

そのため続いて、これまで取り組んできた自分たちの活動を特に同世代の若者を中心に広げていくために何が必要か、というテーマに絞り、意見交換しました。

「若い人たちが活動に参加しないのは、そういう活動があることを知らないからではないか」「同世代の集まる機会やつながる場がありません」「やりたいと思ってもどうしてよいのかわからない人が多いのではないか」というような意見や「エコ活動やボランティア活動は、ちょっと面倒くさいと思っている人が多い」「目立った活動をするとうりから出しゃばりと思われるのではないか」などの意見が出されました。

活動を広げていくために必要なこととしては、

- ・ 活動内容やそのおもしろさをPRする場が必要
- ・ 参加したいと相手に思わせるようなPRの工夫がいる。
- ・ 地域で活動している元気な中高年の取組を引き継いでいくためには、相手に知ってもらう機会を与えたり、口コミでの広がりも大切。
- ・ ボランティアなどをはじめのきっかけづくり、動機付けが必要ではないか。
- ・ 活動をやってみたい人と、若い人たちに協力してほしい地域とのマッチングのような仕組みがあればよいのではないか。
- ・ 地域の中で、同じ活動をしている人たちの横のつながりがもてるような交流会のような場を設定してはどうか。

などの多くの意見やアイデアが出されました。

また、行政に対しては、「つながる場所や、活動をやりたいと思っている人とコミュニケーションが取れる場所がほしい」「行政から学生や若い人が参加できる仕事やチャンスを出してほしい」

「活動PRのための情報誌などを公共機関にも置

かせてほしい」「企業や民間と市民団体がやっていることにももっと行政が係わってほしい」などの要望が出されました。

### 知事から皆さんへのメッセージ

学生から最後に、「鈴木知事からみた三重県の若者のいいところと悪いところは何か」という質問が出され、知事からは、「三重県の若い人のいいところは、まじめなところ。まじめであることはめっちゃめっちゃかっこいいし、とても素晴らしいと思う。逆にもう少しと思うところは、もっと羽目を外してもいいんじゃないかと思う。人に迷惑をかけてはダメだけど、若いうちは、自分がやりたいことに対して、もっとめっちゃくちゃにやってみてもいいんじゃないかと思う」というコメントがありました。

知事から最後に、参加者へのお礼とともに、「一人でも多くの三重県の若い人たちが、誰かの役に立てて、喜んでもらって、幸せだなと感じるそういう機会をたくさんつくってほしいし、みんなの活動を広げる手助けをやってほしい」というコメントがありました。

